

# 木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 2021年 9月 25日

☆評価者ご芳名( ウォーハム 万理子 )

評価項目No.	評価～本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	新型コロナウイルスの影響で「第1回」が少ない中、昨年度からこれまで園の行事を中止するのではなく、感染予防対策をしっかり考慮し、工夫しながら可能な限り実施できるように、子どもたちが楽しめるようにと考え実行して頂きありがとうございます。園の感染予防の設備(ストリーム導入)やマスク着用方針につきましても様々な感染症予防対策に効果的で良いと思います。
2	大人数に比べ、1クラス25名以下の人数設定は、子ども一人一人へ目が行き届きやすくなり、教育・指導・安全面においても良い環境だと思います。東棟1F部分の改修で保育室が増え準備が進んでいるということで、更なる「質の高い幼児教育実現」を心待ちにしております。
3	アートと共にプロジェクト型保育に力を入れられ、多くの実績を積まれている木の実幼稚園の実践本はたくさんの先生方に熟読され保育のお手本となると同時に、保護者も木の実幼稚園の取り組みを分かりやすく知ることができるので、書籍化は大変素晴らしいことだと思います。
4	入園前だけでなく、入園後の保育過程の中で「自己発展」が必要であるとされる子どもたちもいると思います。園の中に、支援保育の知識や経験がある先生たちがいらっしゃることは保護者にとって大きな支え、安心です。先生方が研修を通してキャリアアップを図れる体制はとても魅力ある職場環境だと思いました。
本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。	
<p>先生やお友達との日々の関わりは、子どもの心を豊かにし成長させてくださいます。最初は泣いていた息子ですが、今は幼稚園から帰ってくる様子も楽しそうで、安心して幼稚園に送り出すことができ嬉しい思っています。感染予防も大変な中、子どもたちが毎日元気に楽しく幼稚園で過ごせるのは、いつも温かく見守り、ご指導下さる先生方のおかけです。心より感謝申し上げます。</p> <p>日々新しいことを積極的に取り入れ保育環境の改善を惜しまず、進化する木の実幼稚園の並々の飛躍を心よりお祈り申し上げます。</p>	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。

# 木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 令和3年 9月 26日

☆評価者 姓名( 谷藤理沙 )

評価項目No.	評価~本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	新型コロナウイルスが流行し始めてから様々な状況の変化にその都度適切かつ迅速に対応していただき、有り難く思っております。誰もが不安を抱える中常に新しい医学的知見に基づく確かな情報から園内の環境を整え、しっかりと感染予防対策を講じていただき、安心して預けることができております。子ども達、保護者、教職員の方々の健康第一でこれまでのようにこれまでどおりにこなめどもご提示いただき対策に沿った徹底した予防対策を講じていただくことで、引き続き安心いたします。
1	お陰様で子ども達の安心感も実感で表れております。多くの議論を要する行事ですが、どのよが形であっても、先生方が子どもの目線に立つ創意工夫を凝らしてくださいる行事は、子ども達にとって、主体的に想像力を広げ表現する素敵なお時間として思い出に残るものになると思っております。
2	1クラス25名以下はとても重要なと考えます。卒園児の娘は、1クラス31名で1年間過ごしました。プロジェクト保育のテーマは、とても豊富で環境問題に注目した活動もありました。そしてその背景には先生が費された計り知れない努力があったこと思います。 1クラス25名以下になると、先生の目が届きやすくなるので、安心で整います。それが子ども達の安心感となり、実感で整います。先生のご負担軽減となり働き抜かれたおかげで最大限に發揮され、よ浪い活動が展開されていくのだと感じます。
3	プロジェクト保育の魅力は、1年間の集大成である造形展でそれまでに増していく、全学年のこれまでの活動を直に知ることで、子ども達の主体的に想像力を豊かにする成長性に圧倒されます。先生方が1人1人の個性をしっかり引き出されていることやクラスの温ぬみのある協調性を感じられます。その中で「実践本が作成されること」とも喜ばしく思います。 木の実幼稚園の実践が幅広く周知されることで、様々なため児教育の現場において、子どもの権利の尊重が主体の「レジエミリア教育」の理念が重視されることはとても嬉しいです。実践が時を重ね益々発展されることで大きな期待と膨れ出ます。
4	支援担当の先生がクラスに入ることで「先生方の見守るまなざし」が増えることがあります。それは子ども達が安心感に抱まれて遊び込める環境であり、活動が充実することへ繋がります。 国連の子ども権利条約では、「生まれた能力を十分伸ばして成長できるよう医療・教育・生活への支援などを受けることが保障される」とあります。クラス運営において、誰一人取り残さないよう個々の子どもの育ちに応じたきめ細かい保育の実現へと取り組んでいる木の実幼稚園の石針は、保護者として安心して子どもを通わせることに繋がります。
4	年長で使われている姿势を正す椅子を見ると、子は気に入り、園外でも「幼稚園の椅子がいいねんな」と言います。木製で質の高い帆刺繍染めの良さを自然と体で感じている様です。「環境は第3の先生」とされているトレシエミリア教育の理念を知りました。子ども達は環境の良い場所に通い、質の高いものに囲まれ、その良さを肌で感じ取っています。幼稚園期の環境の影響は、大人が想像する以上のものだと思っております。ハード・ソフト両面から丁寧に寄り添っていただけることを有り難く思っております。
本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。	
日頃から丁寧に向き合い、寄り添っていたとき、お陰様で元気にすくすく育っております。造形活動を通して、自分を表現する楽しさを感じている様です。樂い時も穏やかでない時も、鉛筆・筆を持ち何より気持ちを紙に表していることがあります。夢中になるその後程が大切なんだと保育の中から教わりました。	
園長先生は、「気持ちを紙にかき起すことは、大変良いことですよ」と教えてくださいました。木の実幼稚園は、素敵な学びであります。園長先生の「お地蔵様」を真似て、息子も気持ちを込めてお地蔵様を描くことがあります。地蔵祭でのお参りが頭に浮かぶからか、外出時にお地蔵様を見かけると「お地蔵様があるー」と言って手を合わせています。このコロナ禍で尊い経験をさせていただけております。たくさんのお遊びを有り難く思っております。	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。

# 木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 2021年 9月 26日

☆評価者ご芳名( 中地 涼子 )

評価項目No.	評価~本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	<p>変異を探り返す未だのウイルスとそれに伴う大きな社会変革の中、様々な価値感の元多くの意見があちこちで、感染対策及び行事設定は先生方におかれても迷いながら苦渋の決断であることも多いと想像します。保護者としては子ども達の様子を知る機会や先生方との交流、保護者同士の意見交換の場が激減したことは大変残念に思います。その一方で大きな行事においては開放感としてゆくり参加できる等メリットには点も少なからずあります。ウイルスとの共生を目指す現状においては、例えばオンラインによる先生方と保護者の座談会やこれまで直面する会の少なかった園長先生とのオンライン交流等も希望者を募って行いつければ、保護者の方にとっては孤立しないオープンな教育にも繋がり、先生方ともより多くのことを共有できて有益ではないかと思います。</p> <p>今回のパンデミックで単なる不幸が出来事と捉えずに進歩につなげる糧になればと願っています。</p>
3	<p>グローバル社会の中、多くの先進国が個性と多様性を認め、教育に舵を切った中、2020年代に入った今尚、日本の教育は時代に則りぬき伝統と慣習に縛られています。そこには否めません。そんな中でも稀有な木の実幼稚園の保育の在り方が書籍等で世に広まる事は過去の教育で育った私達親や教育者の考えに一石を投じたうと大変身鮮しく思います。</p>
4	<p>N0.3に通ずる事ですが、未来を担う子ども達に本当の意味での(やる理解や共感性)を伝えいく上でもまずはロールモデルとなる先生方の働き方(=生き方)や「やりたい事を立ち張り、認められる環境」であることは必須だと思います。又、昨今呼ばれる「特別支援が必要な子ども達」というのも理解けば素晴らしい個性の塊であり、とは言え集団生活の中で個々に異なる対応を行なうのは並大抵のことではないと思いますが、工夫のしやすい体制を整え、それらの個性を受け止められると保育は、彼らの未来を支える石柱となり、各々が多様性をつかみ合う未来社会のクリエイターを輩出する種に沿うと確信しています。</p>
本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。	
<p>コロナ禍以前の木の実幼稚園を知っている身としてはコロナ禍とは、たこの一年半程は寂しさを感じる事もありますが、私達の目に触れないところでは先生方が懸命に真摯に保育を行なって下さっていると書いています。私にとってはそう「信じる事」を容易にさせてくれるが木の実の先生方ですが、コロナ以後に入園された方々にはもしかしたらそれを実感して頂ける機会があるといいのかなあと思ったりもします。</p> <p>先生方の熱い想いに触れるチャンスが増えればソーシャルディスタンスを越えた1mの距離の近い保育とコロナを敵視しない真の共生へと向かう一步となるような気がします。</p>	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。